

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2020年9月25日

プラス(株)のオフィスの座席管理アプリに新機能 二次元通信シートにより濃厚接触者の把握をサポート

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）が開発した二次元通信シートが、プラス株式会社（本社：東京都港区、社長：今泉 忠久）が展開するスマホを活用したオフィスの座席管理アプリ「Suwary（スワリー）」に搭載され、オフィスにおける新型コロナウイルス感染者との濃厚接触者の把握をサポートする機能を実現しました。

このたび「スワリー」において提供が開始される濃厚接触者の把握サポート機能は、オフィス利用者が新型コロナウイルスに感染した場合、感染者がオフィス内で、誰と、どこで、どれくらい接触していたかという情報を抽出し、把握するサービスです。「スワリー」は、座席の利用履歴を1分単位で管理することで接触者を把握し、自宅待機や受診をピンポイントで指示したり、オフィスの閉鎖対応も効率的かつ効果的に実施できます。これにより、フリーアドレス制やサテライトオフィスを採用している企業などが、新型コロナウイルス感染対策のソリューションとして有効活用することが期待できます。

プラスが展開する「スワリー」は、シート状のデバイスを設置するだけでデスクを簡単にIoT化し、予約管理ができるアプリケーションサービスです。フリーアドレスやコワーキングスペース、シェアオフィスの整備が進み、アクティビティ・ベースド・ワーキング（時間と場所を自由に選択できる働き方）が推進される中、効率的に業務管理や利用促進を図るツールとして利用されています。

その「スワリー」の正確な位置把握システムは、帝人と株式会社セルクロスが開発した二次元通信シートと、株式会社タグキャストのビーコン技術との組み合わせにより共同開発した平面認証ビーコン(*)「Paper Beacon（ペーパービーコン）」の技術によるものです。通常、ビーコンからの信号は三次元空間に広く拡散し、混信してしまいがちですが、帝人が独自開発した二次元通信シート上に電波を留めることで混信を避け、座席ごとの位置情報を正確に発信することができます。これにより、従来のビーコンでは困難であった、大人数が集まるスペースでのテーブルやイス単位の限られた場所を特定することも可能です。

(*)ビーコン：「Bluetooth® LE」という近距離通信を使用し、スマートフォンなどの端末に向けて特定の位置情報を繰り返し発信する機器です。

《「スワリー」の利用イメージ》



 Suwary

スマホに「スワリー」のアプリをインストールし、IoT化したデスクに置くだけで、1分単位で座席の利用履歴を把握することができます。



これまで当社は、電波を留めることができる二次元通信技術を活かした「ペーパービーコン」を、「人」の所在管理システムとして、飲食オーダーシステム「プットメニュー」やこのたびの「スワリー」に展開してきました。今後は「人」の管理から「物」の管理へと対象を広げることで、工場・物流分野へも展開し、さらなる事業拡大を図っていきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055